令和８年度

博士前期課程

１−２月実施（一般入学試験）　　【人文学学位プログラム　哲学・思想サブプログラム】

区分	出題意図または解答例
専門科目Ⅰ （哲学・哲学史）	問１では、普遍性の実在性という哲学の根本問題に対し、受験生が自ら問題を構造化し、立場を定め、論拠を挙げて論証する能力を評価する。論証においては一定の哲学史的知識も重視される。 問２では、複数の概念について答えさせることにより、受験者が大学院で哲学を専門的に研究するうえで重要な哲学上の基礎知識をどれほど理解しているか見極め、大学院進学に十分な予備知識をもっているか評価する。
（倫理学・倫理思想史）	問１では、倫理学の重要テーマについての理解と、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。 問２では、倫理学・倫理思想史に関する用語や概念に対する理解の正確性を幅広く問う。
（宗教学・宗教史）	問１では、与えられた宗教学のテーマについて、その背景知識を問うとともに、自身の主張を論理的かつ的確な文章で表現する能力を問う。 問２では、宗教学における様々な分野の主要語句についての知識と、その内容を簡潔に説明する能力を問う。
専門科目Ⅱ （外国語文献読解：日本語）	問一では、世界哲学に関する日本語文献について、的確に読解した上で、世界宗教と対比させつつ論理的に説明する能力を問うた。 問二では、日本思想に関する日本語文献について、的確に読解した上で、悪をめぐる論点を把握し論理的に説明する能力を問うた。
（外国語文献読解：英語）	哲学・思想に関する英語文献を、語彙と文法を含めて的確に読解したうえで、その内容を日本語で正確に表現する能力を問う。
（外国語文献読解：ドイツ語）	哲学・思想に関するドイツ語文献を日本語に翻訳させることを通して、ドイツ語文献の正確な読解力と論理的な日本語表現力を問う。
（外国語文献読解：漢文）	問題一では、道家の基本文献『荘子』秋水篇における他者の心の理解の可否を論ずる有名な一文であり、この内容を問うことにより、中国哲学の基礎知識を見極めることができ、それを通じて一定

	水準の予備知識の有無が判断できる。 　問題二では、儒家の流れを受ける韓非子の性悪的側面を反映する一文の読解を通じて、受験者がどの程度中国哲学の基礎知識を有するかを評価する。